

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

高鳴れ鼓動 集え努力の結晶！

まなびをたくましく感動をたくましく

来る10日(土)から3日間、長崎市中学校総合体育大会が開催されます。各競技の会場や組み合わせについては、HPにもUPしていますが、それぞれの部活動で確認してください。

大会中、生徒は部活動単位で行動します。部活動以外の生徒は、1日目と2日目は、本校がバスケットボールの会場となるので、会場(体育館)と教室をオンラインでつなぎ、観戦します。

3日目に勝ち進んだ団体競技があれば、全校応援を検討します。

7日(火)に、選手推戴式を行いました。推戴を受けた選手一人一人の瞳は「ああ、やるぞー」とい

う意気込みで輝いていました。

「高鳴れ鼓動！ 集え努力の結晶」
これは、今年度の県高総体のスローガン。

選手の間には、これまでつらく苦しかった練習を乗り越え、熱き仲間とともに限界に挑戦しながら、それぞれの頂点(目標)を目指して頑張ってきたことと思います。

ぜひ、それぞれの思いや高鳴る鼓動を一分一秒のプレーに込め、そして、それぞれの頂点(目標)を目指して、冷静にプレーしよう。自分の頭をコントロールして、自分のメンタルをコントロールして、顧問の先生やコーチに何

度も言われてきた言葉や、何度も何度も繰り返してきた練習メニューを冷静に頭の中にイメージしながら、共に汗水たらして戦ってきた仲間を信じて悔いのない戦いをしてください。

最後に、応援の皆さんにお願いします。「頑張れ」という一秒の言葉で選手は勇気をもらい、熱く燃えます。
是非、心の底からの応援をよろしくお願いします。

推戴式校長講話

みなさん、いよいよです。中総体って、ある意味独特の雰囲気があります。霧囲気のみ込まれてしまい、「こんなはずではなかったの」って、実力が全く発揮できずに負けてしまったチーム(選手)をたくさん見てきました。

君たちにはそんな思いはさせたくない。だからこそ、想いは熱く燃え滾らせて、ただ、プレーするときは、よくよく考えてこれまでの自分の頑張り

を信じて、冷静にプレーしよう。自分の頭をコントロールして、自分のメンタルをコントロールして、顧問の先生やコーチに何

度も言われてきた言葉や、何度も何度も繰り返してきた練習メニューを冷静に頭の中にイメージしながら、共に汗水たらして戦ってきた仲間を信じて悔いのない戦いをしてください。

最後に、応援の皆さんにお願いします。「頑張れ」という一秒の言葉で選手は勇気をもらい、熱く燃えます。
是非、心の底からの応援をよろしくお願いします。

試合で笑え「試合では、練習してきたことしか出せない」と言われます。ここまで来たら、「自分のプレー、自分たちのプレー、自分らしいプレー」を大会で存分に発揮することだけ心にかけてください。

大会に参加するからには、「勝ちたい」と思うのは当然です。でも、「勝ちたい」と思うだけなら、誰にでもできます。大切なのは、今日まで、自分が

「勝つための努力」をどれだけ、打ち込み、粘り、欲を出して一生懸命取り組んできたかということ

です。勝負には、時の運もあります。対戦相手も必死です。だから、部活動では、「勝つための努力」をやってきたと天に向かって胸を張って堂々と見えるのであれば、それでいいのだと私は思います。相手に勝つことよりも、「自分の弱さに打ち克つこと」の方が、ずっと大切。勝ち負けは、「勝つための努力」を一生懸命にした後に付いてくる結果に過ぎません。結果よりも、そこに至るプロセスはどうだったのかを問うことに価値があるのです。

「勝ちたい」と思うことよりも、「負けない」という気持ちの方を強くもって、戦ってきてください。桜中生としてのプライド、「桜中魂」を胸に、最後の最後まで気を抜かず、戦い抜いてきてください。

それぞれの部活動とも「チーム桜中」の代表として、観戦している人が知らないうちに桜中を応援していたというような立ち振る舞い、戦いぶりで「桜中魂」を見せつけてください。

いろんなプレッシャーから自分自身を解放し、自分らしく、自分のチームらしく戦ってください。たとえ、劣勢にあっても、勝負をあきらめず、自分を信じ、仲間を信じ、最後の1秒まで粘り強く戦ってほしい。

大運動会で身に付けた「ひとりで頑張る力」「みんなで頑張る力」を思う存分発揮してほしい。明日は私が桜の誇り、勝っても負けても、桜の誇り、プライドをかけて頑張ってください。Be Together as one 心は一つ、思いは一つ。全校生徒一丸となって皆さんを応援します。



武次君 平野さんの 熱い堂々の選手宣誓

徳を備えた体力と競技力

10年前くらいの中総体で経験したこと。卓球女子の試合での一場面。

力の差が著しく、一方的な展開になりました。観客席からも、今にも泣き出しそうな打ちひしがれた様子が見てとれました。サブ交代のときです。

優位に試合を進めている選手が言葉かけました。声をかけられた選手は小さく頷きました。表情に

生気が戻りました。手を抜くことなく、諦めることなく、互いに力を出し切り、無事に試合は終了しました。この中学校では、「徳を備えた体力と競技力」が育まれていることが何れ、感動に胸が震えました。

生徒会活動

◆学年委員策

◆学年委員 ◆

◆学年委員策

1年 桜色の挨拶をみんなが理解する。朝の会で

呼びかけて、帰りの会でできたか確認をする。

2年 毎日朝の会で桜色の挨拶の練習を席の隣同士でして、相手の人にOKをもらうまでです。最初に学年委員がお手本を見せる。

3年 担任の先生と副担任の先生に挨拶の評価を放課後聞き、次の日の朝の会で報告をする。張り紙を作り廊下に貼る。週一度自己評価をする。

先生から 学年委員の皆さんがムードメーカーとなり、クラスの雰囲気明るくしていきますよ。

◆生徒会役員から

決めた具休策を早めに行うようにしてください。そして、学年委員の皆さんを中心に、桜色の挨拶を徹底していきけるよう頑張ってください。

◆厚生部

◆イノローカードを目標

◆イノローカードを目標

1年 最初から少なく配膳して、食べられる人に増やしてもらおう。

2年 出発前の身なりと食缶の確認を厳しく行う。

3年 引率する人が、一人一人確認をしっかりする。タイムマーを設置する。

先生から 厚生部の「部長」としてクラスみんなにその話がしっかりとできるように厚生部という自覚を持って話し合いに参加しよう。

具休策を達成できるように頑張りますよ。

◆放送部

◆夏を感じる放送をしよう

先生から 中総体までのカウンタダウン

夏を感じる放送をしよう

まだ、1・2年生がわかっていないことがあるから、3年生がサポートしていろいろなことを共通理解して放送を行っていきましょう。また、きっちり時間を守ってやるべきことをやるようにしましょう。

◆図書部

◆本に興味をもとう

1年 おすすめの本をカリードに書いて紹介する。

◆文化部

◆学級新聞コンクールに向けて計画的に取り組もう

先生から 1年 クラスの人たちにインタビュアーやアンケートなどをとる。イラストや写真などの工夫をする。

2年 学級で、書いてもらいたい内容をアンケートをとって調べる。文化部全体でインタビュアーしながらその学級らしい新聞を作る。

3年 提出期限に間に合うように計画を立てる。クラスの人たちに協力してもらおう。

先生から 学級新聞コンクールの締め切りに間に合うようにしましょう。レイアウトを考えて頑張りますよ。

先生から 学級新聞コンクールにあって、マスケット総選挙もあるの頑張ろう。

先生から 学級新聞コンクールにあって、マスケット総選挙もあるの頑張ろう。

◆図書部

◆本に興味をもとう

1年 おすすめの本をカリードに書いて紹介する。

大雨に備えて「避難情報」の確認を

今年も大雨への対策が必要な時期となりました。「長崎県を含む九州北部地方が梅雨入りしたとみられる」と発表されたのは29日。昨年より13日早い梅雨入りの宣言です。

本校の「気象情報に伴うガイドライン(台風以外)」は次のとおりです。

次の場合は、一斉メール及び電話連絡等でご連絡します。

■台風以外の警報発令にかかる対応■

- (1)特に連絡のない場合、通常通りの登校
- (2)「大雨警報」「洪水警報」については、安全に登校することが確認できた場合には、保護者の判断で登校させてください。危険と判断される場合は、「自宅待機」や「時間を遅らせての登校」等、保護者でご判断いただき、学校へ連絡願います。遅刻・欠席扱いにはなりません。
- (3)居住地域に「避難指示(警戒レベル4)」以上が発令された場合は、登校を控え、「自宅待機」もしくは「避難」となります。

災害発生の危険が迫る状況に置かれたとき、適切に判断できる桜中生、必要な情報を自分で確実に得られる桜中生、守られるよりも命を守る側の桜中生になってほしいと思います。「もしもの備え」をご家庭でもよろしく願います。

2年 2週間に1回、本を借りてチェックをする。

3年 おすすめの本のポスターを作り、各クラスに掲示する。

先生から 先生から 先生から

よりよい図書室にするために、具休策をしっかりと実行してください。

先生から 先生から

先生から 先生から